

伊達悦子先生 略歴・主要研究業績

I. 経歴・社会活動

1944年 9月12日生まれ

学歴

1967年 3月 日本大学文理学部心理学科卒業

職歴

- 1967年11月 長野県技術吏員（諏訪児童相談所、臨床心理判定員）（1969年 3月まで）
- 1969年 4月 栃木県技術吏員（中央児童相談所、兼精神薄弱者更生相談所、臨床心理判定員）（1971年 3月まで）
- 1971年 4月 栃木県技術吏員（県北児童相談所、臨床心理判定員）（1973年 3月まで）
- 1972年 4月 東京教育大学教育相談研究施設派遣（1973年 3月まで）
- 1973年 4月 栃木県技術吏員（中央児童相談所、精神薄弱者更生相談所、臨床心理判定員）（1977年 3月まで）
- 1977年 1月 国立国府台病院児童精神科派遣（1977年 3月まで）
- 1977年 4月 栃木県技術吏員（県南児童相談所、臨床心理判定員）（1979年 3月まで）
- 1979年 4月 栃木県技術吏員（県立保育専門学院、臨床心理判定員）（1981年 3月まで）
- 1979年10月 長野県立短期大学幼児教育科派遣（1979年11月まで）
- 1981年 4月 作新学院女子短期大学幼児教育科講師（養護原理担当）（1986年 3月まで）
- 1981年 4月 栃木県立衛生福祉大学校非常勤講師（臨床心理学担当）（1995年 3月まで）
- 1982年12月 大学設置審議会：自治医科大学看護短期大学非常勤講師（臨床心理学担当）
- 1986年 4月 作新学院女子短期大学幼児教育科助教授（児童福祉担当）（1993年 3月まで）
- 1987年 4月 自治医科大学看護短期大学非常勤講師（臨床心理学担当）（1998年 3月まで）
- 1992年 4月 栃木介護福祉士専門学校非常勤講師（老人心理学、障害者心理学担当）（2001年 3月まで）
- 1993年 4月 作新学院女子短期大学教授（児童福祉・臨床心理学担当）（2006年 3月まで）
- 1995年 4月 作新学院女子短期大学附属幼稚園園長（2001年 3月まで）
- 1996年 4月 宇都宮大学教育学部非常勤講師（幼児教育原理Ⅱ担当）（2011年 9月まで）
- 1998年 1月 大学設置審議会：国際医療福祉大学保健学部非常勤講師（コミュニケーション論Ⅰ担当）
- 1998年 4月 国際医療福祉大学保健学部非常勤講師（コミュニケーション論Ⅰ担当）（2001

年3月まで)

- 2002年4月 作新学院大学人間文化学部非常勤講師 (2006年3月まで)
- 2006年4月 作新学院大学人間文化学部教授 (現在に至る)
- 2008年4月 作新学院大学大学院心理学研究科 (臨床心理学専攻) 教授 (現在に至る)
- 2010年4月 作新学院大学大学院心理学研究科科长 (現在に至る)
- 2012年4月 放送大学非常勤講師 (現在に至る)

学会及び社会における活動

- 1970年10月 日本児童青年精神医学会会員 (現在に至る)
- 1979年4月 栃木県保母試験委員会委員 (1997年12月まで)
- 1981年4月 日本保育学会会員 (現在に至る)
- 1981年4月 栃木県教育研究所相談員 (1989年3月まで)
- 1987年1月 日本カウンセリング学会会員 (現在に至る)
- 1987年4月 栃木県社会福祉審議会委員 (1999年3月まで)
- 1989年4月 栃木県青少年健全育成審議会委員、委員長 (1996年3月まで)
- 1989年10月 宇都宮市教育センター運営審議会委員 (現在に至る)
- 1992年4月 全国保母養成協議会理事 (1998年3月まで)
- 1995年5月 栃木県ソーシャルワーカー協会副会長 (2006年3月まで)
- 1996年5月 宇都宮市社会福祉審議会委員長 (2005年6月まで) 以後、委員 (現在に至る)
- 1997年1月 とちぎ子ども学会理事 (現在に至る)
- 1997年4月 NPO法人「青少年の自立を支える会」理事長 (2007年3月まで)
- 1997年7月 栃木県社会教育委員 (2002年3月まで)
- 1998年4月 日本カウンセリング学会栃木県支部副支部長 (2006年3月まで)
- 1999年11月 栃木県臨床心理士会理事 (現在に至る)
- 2000年4月 とちぎ総合研究機構客員研究員 (2005年3月まで)
- 2000年7月 保護司選考委員 (法務大臣) (2012年6月まで)
- 2001年3月 国立きぬ川学院 非常勤職員 (心理療法士、専門委員) (2008年3月まで)
- 2004年9月 日本心理臨床学会正会員 (現在に至る)
- 2005年3月 栃木県臨床心理士会副会長 (2009年3月まで)
- 2009年4月 栃木県臨床心理士会会長 (2012年3月まで)
- 2010年2月 栃木県警察本部被害者支援連絡協議会副会長 (現在に至る)
- 2010年4月 被害者支援センターとちぎ理事 (現在に至る)

Ⅱ. 主要業績

著書

1. 『婦人の自立と子育て考』（共著） 1980年 6 月 明治図書
2. 『郷土に生きる女と子ども』（共著） 1982年 2 月 明治図書
3. 『心理学セミナー』（共著） 1984年 4 月 福村出版
4. 『児童福祉』（共著） 1989年 8 月 チャイルド本社
5. 『親と子の悩みに応える』（共著） 1990年11月 栃木県連合教育会
6. 『児童福祉』（共著） 1991年 4 月 全国福祉協議会
7. 『新しい時代の保育観を創造する』（共著） 2000年 6 月 全国私立保育園連盟
8. 『児童福祉』（共著） 2001年 5 月 チャイルド本社
9. 『保育士をめざす人の児童福祉』（編著） 2002年 2 月 (株)みらい
10. 『保育士をめざす人の養護原理』（編著） 2003年 3 月 (株)みらい
11. 『保育士をめざす人の児童福祉』（編著） 2005年 3 月 (株)みらい
12. 『保育士をめざす人の児童家庭福祉』（編著） 2012年 2 月 (株)みらい
13. 『保育士をめざす人の社会的養護』（編著） 2012年 2 月 (株)みらい

学術論文

1. 「家庭内暴力を主訴とする中学生の事例」（単著） 1977年11月 『厚生省相談事例集』
2. 「自我同一性障害の臨床心理学的考察」（単著） 1981年12月 『作新学院女子短期大学紀要』 6号
3. 「青少年期の精神的危機の研究」（単著） 1984年12月 『作新学院女子短期大学紀要』 8号
4. 「いわゆる不適応行動と遊戯療法について」（単著） 1985年12月 『作新学院女子短期大学紀要』 9号
5. 「少年非行に関する考察－不純異性交遊の病理性」（単著） 1986年12月 『作新学院女子短期大学紀要』 10号
6. 「場面緘黙を主訴とする女兒の遊戯療法過程」（単著） 1988年 3 月 『栃木県教育研究所紀要』
7. 「児童施設における養護機能の研究・養護施設児童の生活・行動実態調査の分析をもとに」（単著） 1989年12月 『作新学院女子短期大学紀要』 13号
8. 「児童施設における養護機能の研究・児童処遇を巡る課題の抽出と分析」（単著） 1990年11月 『作新学院女子短期大学紀要』 14号
9. 「児童施設における養護機能の研究・処遇テーマの考察（ケーススタディより）」（単著）

1992年11月 『作新学院女子短期大学紀要』 16号

10. 「児童福祉の現状と課題・主体としての児童福祉は可能か」(単著) 1993年11月 『作新学院女子短期大学紀要』 17号
11. 「カウンセリングマインドの習得研修プログラム－社会福祉従事者の場合の構成と内容」(単著) 1994年11月 『作新学院女子短期大学紀要』 18号
12. 「保育行政の現状と今日的課題－A市の調査と分析をとおして」(単著) 1995年12月 『作新学院女子短期大学紀要』 19号
13. 「福祉教育再考」(単著) 2000年12月 『作新学院女子短期大学紀要』 24号
14. 「児童虐待・背景と要因の分析」(単著) 2005年3月 『作新学院大学女子短期大学部紀要』 28号
15. 「学校における心理臨床実践の考案－学校臨床心理士の活動と役割－」(単著) 2006年3月 『作新学院大学女子短期大学部紀要』 29号
16. 「中年期就業者の『こころの病い』の構図」(共著) 2013年3月 『作大論集』 第3号

その他

(1) 新聞連載

1. 「とちぎの女」(共著) 1983年1月～1983年12月 『朝日新聞栃木版』
2. 「下野新聞『教育相談室』」(共著) 1985年6月～1986年6月 『下野新聞』
3. 「下野新聞『子育て相談室』」(共著) 2011年10月～2012年9月 『下野新聞』

(2) 学会発表

1. 「保育所の機能に関する研究・保育者の研修内容について」(共著) 1983年5月 『日本保育学会第39回大会研究論文集』
2. 「保育所の機能に関する研究・意識調査をもとに」(共著) 1984年5月 『日本保育学会第40回大会研究論文集』
3. 「電話相談に関する研究・応答態度に関する尺度について」(共著) 1988年5月 『日本カウンセリング学会研究論文集』
4. 「児童養護施設児童の情緒障害と不適応行動の実態と施設の対応について」(単著) 1988年5月 『日本保育学会第41回大会研究論文集』
5. 「電話相談に関する研究・応答の分析の試み」(共著) 1989年5月 『日本カウンセリング学会研究論文集』

(3) その他

1. 「氏家町子育て通信」(単著) 1989年4月～1990年3月 氏家町教育委員会

2. 「児童の健全育成の方策について」(単著) 1989年7月 栃木県経済同友会
3. 「幼児期の発達課題」(単著) 1990年1月 学事出版(『月刊学校教育相談』)
4. 「対談集－我々はアマチュアではない」(共著) 1991年6月 栃木県社会福祉協議会
5. 「指定大学院の指定を受けて」(単著) 2007年7月31日 『(財)日本臨床心理士資格認定協会臨床心理士報』
6. 「作新学院大学大学院」(単著) 2008年11月 日本評論社『臨床心理士養成指定・専門職大学院ガイド2009』
7. 「柳田邦男先生の記念講演をお聞きして」(単著) 2009年1月 『(財)日本臨床心理士資格認定協会臨床心理士報』